

つづき あい 通信

活動を通じた 「地域でのつながり」特集 ～子育て支援編～

「つづき あい通信」は、第2期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」※を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報紙です。

※裏表紙に詳細を説明しています

都筑区には、主任児童委員やこんにちは赤ちゃん訪問員などをはじめとして、子育て支援活動を行っている人が多数います。

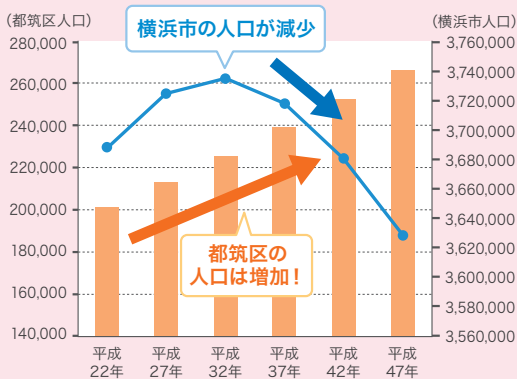
その人たちが横のつながりをつくることで、新たな活動の輪が生まれたり、既存の活動が広がるなど「子育てにやさしいまちづくり」が進んできています。このような地域の方々の活動を、区役所や子育て支援センターなどの関係機関が応援しています。



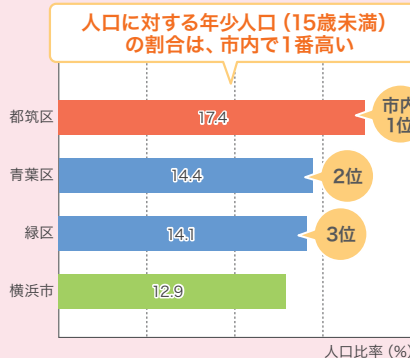
楽しく!元気に!
親子遊び!



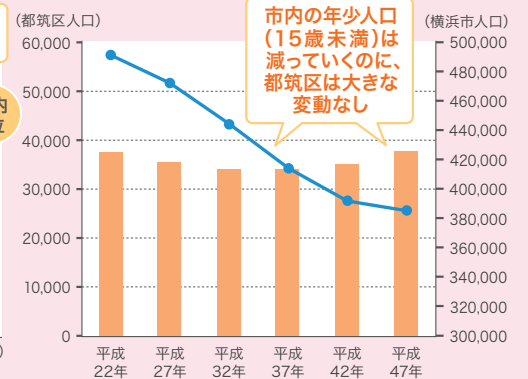
グラフ1 将来人口推計



グラフ2 年少人口(15歳未満)割合



グラフ3 将来人口推計(年少人口15歳未満)



(※出典:横浜市統計ポータルサイト)

「地域のつながり」で子育てを応援します



子育てネットワーク交流会は地域の課題解決の場!



交流会から始まった子育て支援

子どもが生まれ、育っていくときに、地域の中でその成長を一緒に見守ってくれる人がいると安心ですね。特に都筑区は小さなお子さんを持つ家庭が多く、転入世帯も多いことから、子育て世代の孤立を防ぎ、安心して子育てができるよう身近な地域で応援する環境づくりが必要です。

都筑区では、様々な立場の方々が子育てサロンや外遊び、子育て相談等の活動していますが、お互いの活動を知らなかったり、同様の課題を感じながら活動している状況でした。そこで、平成22年度から子育て支援センター「ポポラ」と区役所が事務局となり、民生委員・児童委員、主任児童委員、こんにちは赤ちゃん訪問員のほか、地域ケアプラザやコミュニティハウスなど、様々な子育て支援活動をしている人や機関に声をかけ、情報交換や地域の子育ての課題を話し合う「子育てネットワーク交流会」を年1回開催することにしました。

年々子育て支援の輪が広がり、今では約100人の支援者が集まり、子育て支援の大切さや楽しさを再確認するだけでなく、地域の支援者同士の顔の見える関係ができたことで、お互いに協力し合い、地域の課題解決に向けた新たな取組のきっかけづくりの場となっています。

今回は、子育てネットワーク交流会をきっかけに始まった子育て支援の取組をご紹介します。

子育て支援センター「ポポラ」と区役所で子育て支援の輪を広げています

子育て支援センター「ポポラ」は、妊婦とその家族、就学前のお子さんとその保護者が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる「子育ての休憩所」です。親子で過ごせる広場だけでなく、子育ての相談や情報提供、人材育成なども行ない、都筑区の子育ての拠点の役割を担っています。

区役所と「ポポラ」は、子育て支援のパートナーとして協力し合い、妊婦や転入者向けの支援や外遊びを広める活動などを推進しています。また、子育てネットワーク交流会や支援者研修会などのネットワークづくりや、地域で行われている活動にも参加しながら地域の皆さんと一緒に子育てにやさしいまちを目指しています。

「ポポラ」については、次をご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kodomo/kodomo/popola.html>

川和地区 『かわわ★わーい』 p.3

ママたちが川和地区に馴染んで、ここで子育てができて良かったと思ってもらいたい!地域で気楽に子育てをしていきましょう。



川和地区主任児童委員 木村さん

『荇田南・荇田東近隣エリア 子育てネットワーク』 p.3

荇田南・荇田東近隣エリア 子育てネットワークで活動地域を広げ、子育てが楽しくなる場づくりを目指します。



つづきの丘小学校コミュニティハウス 高橋館長

中川地区 『中川ぴよんぴよん遊び隊』 p.4

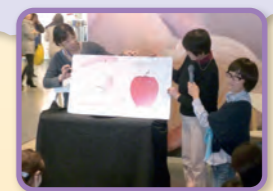
子どもの成長には外遊びが大事だと実感しています。この場があることを大切にしたいですね。



「中川ぴよんぴよん遊び隊」の主な運営を担う「なかがわミルクレーパン」 鎌田さん、中山さん、野田さん、橋本さん

都田地区 『都田地区子育てサロン』 p.4

都田地区子育てサロンは、地域力(企業と町内会)を活かしたサロンです。このサロンに来て、同じ町内の人と出会う友達になったり、主任児童委員と顔見知りになったり、人の輪が広がっています。



都田地区主任児童委員 村田さん



近隣地域で広げる子育て支援の輪 荏田南・荏田東近隣エリア 子育てネットワーク



「荏田南・荏田東近隣エリア子育てネットワーク」は、平成24年度の子育てネットワーク交流会の参加者と子育て支援に関心のある人が、この地域での子育て支援活動状況を知ろうと集まりスタートしました。現在も2か月に1回程度、つづきの丘小学校コミュニティハウスを会場に、活動の報告やイベントのお知らせなど情報交換をして交流を深めています。

また、このネットワークで「子育てカレンダー&マップ」を作成しました。これは、それぞれが課題に感じることを話す中で、いつどこでどんな活動があるのか一目でわかるものが欲しいという意見が出たためです。施設、サロンなどで配布しており、親子が身近な遊び場を知り、参加するきっかけになっています。

こうした取組を続けることで、セーフティネットを広げるとともに、その網の目を細かくできるのではないかと思います。



会議はとても和やかな雰囲気



子育てマップ

親子が主体の外遊び! 中川ひよんひよん遊び隊

中川地区では、地域の育児講座に参加したママたちや子育て支援者が定期的に意見交換をしています。その中で、「外遊びをしたい」との声が上がったため、実現に向けて動き出しました。

その結果、「はじめてでも大丈夫」「近所の友達づくり」「出入り自由」をコンセプトに親子中心の公園遊びを、平成25年度から中川駅近くのひかりがおか公園にて毎月第2金曜日に実施しています。内容は、お砂遊びや水遊び・季節によっては落ち葉やどんぐりを拾うなど五感をフルに使い楽しんでいます。好きな時間に汚れてもいい格好でいらしてください。新しい仲間をみんなお待ちしています!!



ひかりがおか公園で外遊び中!



ベビーカーで歩いて行けるくらいの身近な地域に、親子にとって居心地のいい居場所や、気軽に相談できる場所が生まれています。子どもたちが、地域のいろいろな世代の方たちに見守られながら大きくなっていくまちになるといいな♪ と思います。
子育て支援センター「ポポラ」より



たくさんのおもちゃに夢中

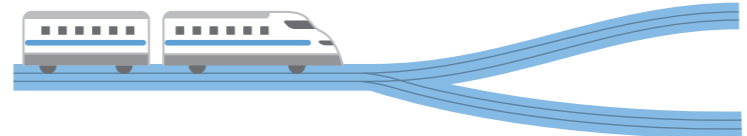
川和地区あそびの広場 PART2 かわわ★わーい



「かわわ★わーい」は、子育てネットワーク交流会の中で出た「広い川和地区に親子でゆっくり過ごせる場所がもう一か所あるといいね」という声から、平成25年2月に主任児童委員が中心となって『あそびの広場 PART2』としてスタートしました。川和小学校コミュニティハウスを会場に、月1回開催しています。親子で遊べる場所というだけでなく、ママたちにとってホッとできる場所になればいいと思っています。

子どもたち、ママたち、さらに川和地区社協の協力も得て、地域で暮らす住民みんながつながるきっかけづくりの場となり、安心安全に子育てができることを目標に活動しています。

“スタッフも参加者も楽しく”をモットーにこれからも継続していきます。



IKEA港北で子育てサロン♪



広いから伸び伸び遊べます

地域で作りあげた遊び場 都田地区子育てサロン



都田地区の子育て支援関係者での話し合いの際に、「主に南部では、子育て世帯が増えてきているが、近くに集まる場所がない」という課題が出ました。そこで地区社協の支援のもと、主任児童委員を中心に地域の方が主体となった子育てサロンを開催することになりました。

どこがいいか考えた結果、集まりやすい場所にあるIKEA港北がいいのではと思いつきました。IKEA港北に協力依頼した結果、会場として店舗の一部を借りるだけでなく、おもちゃの提供も受けています。

また、多くの親子に利用してもらえよう、IKEA港北以外にも折本公民館やJA 横浜きた総合センターを使用するなど工夫をしています。

みんなが待ち望んでいた子育てサロン。今は隔月の第3木曜日に開催しています。たくさんの人に知ってもらい、ぜひ遊びに来てほしいです。

地域には今回ご紹介できなかった子育て支援活動がいろいろあります。子育ては「地域へのパスポート」! 子育てをきっかけに地域のいろいろな世代が繋がっていくといいですね。
区役所こども家庭支援課より



「地域福祉保健計画」
を推進する、関係機関を
毎号ご紹介します

今回は

「東山田地域ケアプラザ」

です!

～ご紹介します! 東山田地域ケアプラザ～



平成8年、東山田地域ケアプラザは区内で2番目のケアプラザとして誕生しました。皆様のおかげでもなく20周年を迎えます。東山田駅徒歩5分の好立地、しかも竹林や畑に囲まれた自然豊かな環境です。近くの幼稚園、保育園からは子どもたちのかわいらしい声があふれます。平成26年度は「ここに笑顔がある」をスローガンに掲げ、地域の皆様方に「笑顔」を届けられるケアプラザを目指します。館内壁面で月替わりギャラリーも開催しておりますので、ウォーキング・お散歩の際にぜひお立ち寄りください。

地域の福祉保健活動を応援します!

地域の活動に出張し、お役立ち講座等を承ります。



山田ふれあい友遊
(認知症予防ゲーム)



東山田ボランティア友の会
(エンディングノート講座)



いどばた会 (東山田1丁目)
(認知症基礎講座)



地域の福祉保健活動団体と協働して、地域に根付いた福祉保健活動を行います。



山田富士公園遊び



会食会 ふきのとう



生き生きクラブ



毎月第2 水曜日10:30～ 参加自由

ケアプラザではこんな取組をしています!

高齢者支援

ご高齢者の総合相談窓口があります。
【担当地域】東山田、東山田町、北山田、南山田、南山田町、すみれが丘
介護保険の申請のことや、介護予防についてなど、ご相談ください。

介護者のつどい

介護されている方、介護を終えられた方向けに、ホッと一息つける場所を提供しています。



介護予防への取組



ボランティア支援

ボランティアしたい方・ボランティアしてほしい方とボランティア団体をつなげたり、地域の福祉保健活動者の相談を受けながら、よりよい活動・地域づくりを目指します。

子育てサロン



毎月第1・2・3金曜日

障害児・者の余暇支援



毎月第4土曜日 アフリカダンス

ケアマネ支援

地域のケアマネジャーの悩みや疑問を共有するサロンや情報交換会を定期的に設けています。

【お問合せ】 東山田地域ケアプラザ TEL 045-592-5975 FAX 045-592-5913

お知らせ



つづき あい フォーラムを開催します!

第2期都筑区地域福祉保健計画、都筑区子ども・青少年育成計画を推進する4つの取組発表を行います。また、各地区や団体の取組についてパネル展でご紹介いたします。

ぜひ、お越しください!

【日 時】平成27年2月21日(土)
午後1時30分～午後3時30分(受付:午後1時～)

【会 場】都筑公会堂

【対象者】都筑区民(300人)

【内 容】地域の活動報告/第3期計画の取組と方向性について
※パネル展は、2月17日(火)午後1時～2月23日(月)
正午まで、区役所1階区民ホールで行います。

【お問合せ】

福祉保健課事業企画係

TEL045-948-2344 FAX045-948-2354



地域と中学生が イベントでつながる 「つなぐれ!ちがさき!」



10月11日(土)、茅ヶ崎中学校において、都筑区子ども・青少年育成計画のモデル事業「つなぐれ!ちがさき!」が開催されました。学校・保護者が中心となって行われている「ふれあい祭」の会場で、子どもが地域の大人とゲームや工作を一緒に楽しみながら交流し、お互いのつながりをつくるイベントを実施。200人を超える子どもたちの参加がありました。茅ヶ崎中学校の生徒もボランティアとして参加し、地域の人たちと一緒に、子どもたちに工作を教えました。ふれあい、つながることで何かの時に支えあえる地域の仲間づくりを目指していきます。

【お問合せ】

子ども家庭支援課青少年支援・学校地域連携担当

TEL045-948-2471 FAX045-948-2309



都筑区制20周年 第15回都筑区チャリティーゴルフ大会より 「つづき あい基金」へ、 寄付をいただきました!



都筑区にゆかりある個人・団体・企業が参加された「都筑区制20周年 第15回都筑区チャリティーゴルフ大会」からの収益金を、同大会実行委員会より区社会福祉協議会善意銀行に贈呈いただきました。都筑区地域福祉保健計画推進のために、「つづき あい基金」等へ活用させていただきます。

【開催日時】 8月21日(木) 【参加者】 187人
【今大会での収益金】 100万円 【協賛者・社】 67者・社

～「つづき あい基金」助成金をご活用ください～

都筑区地域福祉保健計画を推進する活動を応援する「つづき あい基金」助成金の制度があります。

来年度の募集は、平成27年4月を予定しています。

詳しくは都筑区社会福祉協議会までお問い合わせください。



【お問合せ】
都筑区社会福祉協議会
TEL045-943-4058
FAX045-943-1863



夏期巡回ラジオ体操を 開催しました!



8月30日(土)に、都筑区制20周年記念事業として夏期巡回ラジオ体操を開催し、NHKラジオ第一で全国に生放送されました。

当日はあいにくの雨のため、雨天会場である茅ヶ崎台小学校にて実施。会場には400の方が集まり、音楽に合わせて元気にラジオ体操をしました。会場に入ることができなかった方がいたことが残念でした。

都筑区役所では、これからもラジオ体操を通じて、区民の皆さんが健康に過ごしていただけるよう取り組んでいきます。

【お問合せ】

福祉保健課健康づくり係

TEL045-948-2350 FAX045-948-2354



第2期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」とは？

都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができることを目指しています。

区民、地域、団体、企業と都筑区役所等が、地域課題に対してともに取り組み、**人と人との「であい ささえあい わかちあい」**の仕組みをつくり、行動していくための計画です。

平成18年に策定された第1期都筑区地域福祉保健計画(5か年計画)に引き続き、第2期都筑区地域福祉保健計画(平成23～27年度)を策定し、推進しています。

基本理念

人と人との「であい ささえあい わかちあい」

構成

連合自治会町内会エリアごとに地域の行動目標を定めた「地区別計画」とともに、都筑区役所・区社会福祉協議会の行動計画、地域ケアプラザの行動計画で構成されています。

第2期計画ではどんな取組を進めるのか？

方向性1

顔の見える
地域づくりを
進めます

地域での「つながり」を大切に、地域住民をはじめ、地域の様々な主体が、連携・協働し、地域課題の解決に取り組んでいけるよう顔の見える地域づくりを進めます。

方向性2

幅広い区民参加で
活動や取組の
輪を広げます

地域の課題解決に向けた主体的な取組を区全体に広げていくとともに、ボランティアニーズへ対応していけるよう、幅広い区民参加により、活動の輪を広げます。

方向性3

必要な人に支援が
届く仕組みづくりや
取組を進めます

支援が必要な人の把握や、情報提供のあり方等について検討を行い、誰もが支援を受けられるような仕組みづくりや取組を進めます。



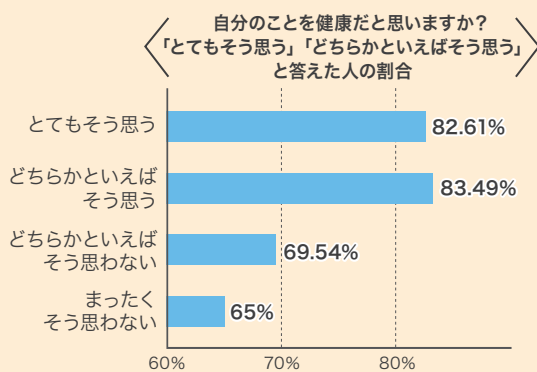
都筑区のソーシャルキャピタルの豊かさについて、 第3期都筑区地域福祉保健計画に向けたアンケート結果から考える

「ソーシャルキャピタル」とは、地域に根差した信頼や社会規範、社会参加、ネットワークといった社会資本をさします。具体的には、人々が持つ信頼関係やネットワーク(つきあい・交流)、社会活動への参加のことで、「お互い様」「ご近所の底力」のような考え方が含まれます。

住民の信頼感が高い地域に居住している人は健康感が高いなど、ソーシャルキャピタルの豊かさが健康状態にも影響を及ぼすという報告もされています。

近所の人への信頼の程度と 自分の健康感についての関係

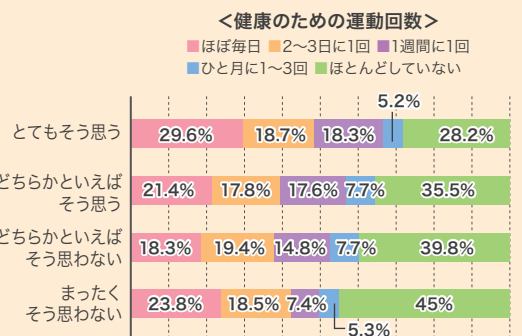
Q. 近所の人を信頼できると感じていますか？



近所の人を信頼できると感じている人ほど、自分のことを健康であると思っています。

自分の健康感と運動の頻度についての関係

Q. 自分のことを健康だと思えますか？



自分のことを健康だと思っている人ほど、運動をしている人の割合が多い傾向があります。